者と協議しながら進めていく予定です。

Q15 道の駅の要件として24時間トイレと公衆電話が必要だと思うが、24時間トイレをなくすことは道の駅でなくなると理解したらよいか。

A 24時間トイレは老朽化のため解体をして、駐車スペースとして利用します。24時間対応トイレは、道の駅の中にあるトイレを24時間使えるように工事をしています。

Q16 登山マラソンのコースでもあり、大江山に登る一つの起点の池ヶ成公園のトイレをなぜ閉鎖されたのか。

A 池ヶ成公園のトイレは数年前の災害で屋根の一部が崩れ危険なため閉鎖しています。また、簡易水道設備も被災し使えないことから、トイレの設置自体をどのようにするか協議が必要と考えています。

CLOSE UP　野田川地域の社会教育施設および就学前・保育施設のあり方に関する質疑

野田川会場では、野田川地域の社会教育施設および就学前・保育施設のあり方に関すること、また、8月22日にスタートした「よさの地域デザイン会議」に関する質問が多くありました。ここでは、この2点の質議を紹介します。なお、よさの地域デザイン会議の概要や会議情報等は、町公式ホームページ（右記ＱＲコード）で随時掲載していますのでご覧ください。

計画を白紙に戻し、住民の皆さんと最適解を出していきたい

Q17 3つのまちが対等合併した場合は、庁舎や体育館などすべて3分の1にするのが基本だと思う。具体案を挙げると、3つのうち1つを与謝野町の体育館にして、他の2つはその地域に払い下げをするような発想の転換をしないと公共施設の統廃合は進まない。各区長なり、住民の意見を聞く方が具体的な案が出ると思う。

A 今後の公共施設のあり方については、住民の皆さんに参画をいただき取り組みを進めていきます。手法やアイデアについて議論されると思うので、議論をオープンにする姿勢で今後の取り組みを進めていきます。

Q18 公共施設を減らしていく中で、例えば現在3つある体育館を使えるところまで使い、老朽化で使えなくなった時点で使用停止にして、小中高の体育館を使わせてもらえばよいのではないか。

A 体育館やグラウンドを活用される方の活動は、社会教育の観点から支えていかなければならないと考えています。一方で今後のまちの財政状況等を考えたときに、全ての公共施設を維持できない状況にあります。どのように住民の皆さんに納得いただき進めていけるのかは、住民の皆さんの力を借りなければできません。8月22日からのよさの地域デザイン会議で多様な意見をいただき、方向性を見出していきたいです。

Q19 野田川体育館のある場所は、図書館や商工会などがあるので残して欲しいが、行政はあの場所に固執されているように感じている。あの場所に固執せず白紙撤回という第三者委員会の結論に重きを置き判断していただきたいが、野田川地域のこども園は早く建ててあげて欲しいと思っている。町長は6月末に野田川地域のこども園や保育所に行かれて保護者から意見を聞かれたと思うが、どのような意見があったのか。

A 一旦計画を白紙に戻し住民の皆さんとの議論を通じ最適解を出していきたいと考えています。6月末から8月上旬にかけて野田川地域のこども園と保育所の保護者の皆さんと懇談をしました。内容は予定どおり野田川地域の認定こども園を完成させることができなかったことの謝罪が目的です。保護者の皆さんからは、これからどのように進めるのか、野田川地域の認定こども園の新設が遅れる場合、現施設の充実にも目を向けてほしい等のご意見をいただきました。

Q20 なぜきちっとしたグランドデザインが描けないのか。

A 町民憲章を理想とし、第2次与謝野町総合計画を策定し、それに基づき行政運営を行っています。第2次与謝野町総合計画は、**みんなでみらいをみえる**かたちで作っていくことを理念とし、7つの政策方針を掲げてその方針に基づき毎年度の予算編成を行っています。

Q21 町職員がまちづくりを担い進めていくのは限界がある。いかに町民が持っている能力を引き出して、結集させていくかがまちづくりの生命線だと思う。今までどおり行政が作った原案を基に町民が協議していくかたちではなく、グランドデザインを作る段階から、町民の知恵が結集できるかたちをつくることに知恵を絞っていく必要があると思う。

A よさの地域デザイン会議は、3地域それぞれ20人ずつの合計60人を想定しています。まずは地域毎に事情が違うので、そこでデザインを作り上げていただきたいと考えています。

新たな住民参画として、よさの地域デザイン会議を設置します

Q22 よさの地域デザイン会議は、30人を目途に募集をされて20人しか集まっていないとのことだが、追加募集はされないのか。

A 3地域各20人弱という状況です。この20人に手を挙げていただくのに、すでに2回募集をしましたので、これ以上追加募集する考えは持っていません。

Q23 まちづくりをするのに、意見を言いたい人は参加してください というかたちになぜできなかったのか疑問に思う。

A 無作為抽出で委員会を立ち上げるのは初めてであり、他の自治体の事例を参考にしました。委員は性別や年代の区別なく無作為抽出して、その中から手上げ方式で選出しています。どのような結果になるかわかりませんが、住民参画の一つの新しい手法として実施します。意見を述べたい方の意見を広く集めることは、今後検討していきます。

Q24 以前、こども園の議論をしたときに、意見を行政がまとめたときには全く違うものにまとめられていたと聞いたので心配である。よさの地域デザイン会議が8月22日から始まるが、どの地区で誰が委員になっているのかわからない。町民はどの人が委員になっていて、どういう議論がされるのか見えない。無作為で選び議論するかたちはいいように見えるが、本当にうまくいくのか。

A 子ども子育て会議で議論されていた内容と結論が違うのではとのご意見は、私たちはそのようには思っていません。そのように言われるのであれば、どこが不十分であるのか具体的に示していただかないと話しができません。後日、ご指摘いただければ返答をさせていただきます。